

(添付様式7-1)

放牧肥育牛生産基準認証（認証継続）申請書<添付資料>

牧場(事業所)名

所在地

代表者氏名

㊞

1. 牧場名

(放牧畜産実践牧場の場合は、認証番号を併記する。)

2. 放牧肥育牛生産基準認証番号

(認証継続申請の場合に記載する。)

3. 前年の生産（出荷）状況

(1) 生産期間（年月日～年月日）

(2) 肥育牛の全生産頭数(うち放牧肥育牛頭数)

(3) 対象となる放牧肥育牛の個体識別番号、放牧子牛生産基準認証番号、肥育期間等の飼養管理データ

ア 放牧畜産実践牧場生産子牛

個体識別番号	品種	性別	生年月日	放牧子牛生産基準認証番号	肥育期間 開始年月日～終了年月日	粗飼料 給与率(%)	備考

イ 放牧畜産実践牧場以外の生産子牛で放牧子牛認証基準を満たす牛

個体識別番号	品種	性別	生年月日	生産農家氏名 (公共牧場名)	肥育期間 開始年月日～終了年月日	粗飼料 給与率(%)	備考

4. 今回認証の対象となる肥育牛の飼養管理データ

(1) 放牧畜産実践牧場生産子牛

個体識別番号	品種	性別	生年月日	放牧子牛生産基準認証番号	肥育期間 開始年月日～終了年月日	粗飼料 給与率(%)	備考

注：「放牧肥育牛生産基準」に従って飼養管理をされたことを示す以下の書類を添付する。

- ①家畜の由来、②肥育管理（肥育方法：個体管理、群管理、ビタミンA制御型肥育、前期粗飼料多給型肥育等肥育法等について記載する。）、③舎飼時の飼養管理、④家畜の衛生管理、⑤情報開示（③～⑤の様式は、放牧畜産実践牧場認証添付様式1-2に準拠する。）
- ⑥粗飼料給与率算出の根拠（放牧子牛個体識別番号毎に記入する。）

放牧子牛認証個体識別番号（                      、                      、                      ）

肥育全期間の月別粗飼料給与量（乾物ベース：kg/日・頭）

	月又は ○月齢	月 ○月齢	月 ○月齢		全期間平均
経営内生産粗飼料					
地域内（国産）生産粗飼料					
小計					(A)
その他の粗飼料					
粗飼料計					(B)
濃厚飼料					
その他の飼料					
全給与量					(C)

$$\text{国産粗飼料給与率} = (A) / (B) \%$$

$$\text{粗飼料給与率} = (B) / (C) \%$$

(2) 放牧畜産実践牧場以外の生産子牛

個体識別番号	品種	性別	生年月日	生産農家氏名 (公共牧場名)	肥育期間 開始年月日～終了年月日	粗飼料 給与率(%)	備考

注1：生産農家等において子牛が放牧畜産生産基準に準じて生産されたことを示す以下の資料を添付する。

- ①放牧管理、②舎飼管理、③繁殖管理、④舎飼時の飼養管理、⑤家畜の衛生管理、⑥情報開示(様式は、添付様式1-2に準拠する。)

注2：「放牧肥育牛生産基準」に従って飼養管理をされたことを示す以下の書類を添付する。

- ①家畜の由来、②肥育管理（肥育方法：個体管理、群管理、ビタミンA制御型肥育、前期粗飼料多給型肥育等肥育法等について記載する。）、③舎飼時の飼養管理、④家畜の衛生管理、⑤情報開示（③～⑤の様式は、放牧畜産実践牧場認証添付様式1-2に準拠する。）
- ⑥粗飼料給与率算出の根拠（(1)に準じて記載する。）

<認証継続の場合、変更点に関して「5. 前回の認証時との変更点」として追加する。

>前回の認証時との変更点について、項目ごとに対比しながら具体的に記述する。

変更点が無ければ、その旨を記入する。

前回の状況	今回の状況

(添付様式7-2)

放牧肥育牛追加認証申請書

一般社団法人 日本草地畜産種子協会  
会長 殿

牧場名  
所在地  
代表者氏名 ⑩

平成 年 月 日付け〇日草種協第 号で認証のあった放牧肥育牛生産基準認証について下記のとおり追加認証を申請します。

記

1. 放牧畜産実践牧場認証番号
2. 放牧肥育牛生産基準認証番号
3. 追加認証対象肥育牛の個体識別番号及び飼養管理データ  
(添付様式7-1の4に準じて作成すること。)